

交通案内

■自動車  
 東関東自動車道「佐倉IC」より国道51号を千葉方面へ進み「坂戸」交差点を左折、  
 県道22号線(八街横芝線)を八街方面へ約700m直進右手(約10分)。無料駐車場300台。

■東京駅から高速バスで  
 八重洲北口から徒歩5分、京成バス3番のりばから「マイタウン・ダイレクトバス」乗車(約60分)  
 [行き]東京駅9:55発→美術館11:02着  
 [帰り]美術館15:29発→東京駅16:41着  
 料金:大人片道1,340円 問い合わせ先:ちばグリーンバス Tel. 043-481-0808

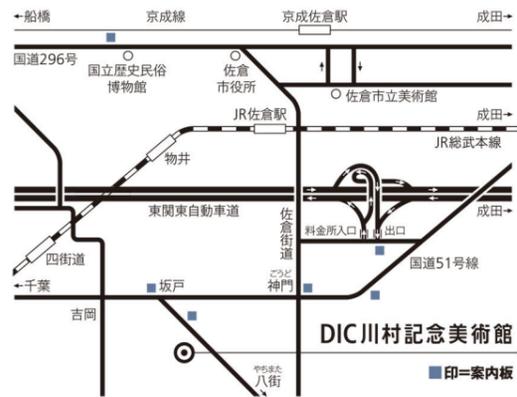
■東京駅からJRで  
 総武快速線エアポート成田で「佐倉駅」下車(約60分)、南口の美術館バス停より  
 無料送迎バス(約20分)

■上野駅から京成電鉄で  
 京成本線特急または快特の成田空港方面行きで「京成佐倉駅」下車(約60分)、  
 南口(シロタカメラ)前より無料送迎バス(約30分)

送迎バス時刻表

|                     |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 京成佐倉駅<br>→美術館       | 8:50  | 9:10  | 9:50  | 10:20 | 10:50 | 11:20 | 11:50 | 12:20 | 12:50 | 13:20 | 13:50 | 14:20 | 14:50 | 15:20 | 15:50 |
| JR佐倉駅<br>→美術館       | 9:00  | 9:20  | 10:00 | 10:30 | 11:00 | 11:30 | 12:00 | 12:30 | 13:00 | 13:30 | 14:00 | 14:30 | 15:00 | 15:30 | 16:00 |
| 美術館<br>→JR佐倉駅→京成佐倉駅 | 10:50 | 11:20 | 11:50 | 12:50 | 13:20 | 13:50 | 14:20 | 14:50 | 15:20 | 15:50 | 16:20 | 16:45 | 17:15 |       |       |

\*印は土・日・祝日のみ運行  
 歴:国立歴史民俗博物館経由 佐:佐倉市立美術館経由(左記の館が休館の場合は経由しません)



次回展予告:  
 レオナルド・フジタとモデルたち  
 2016年9月17日(土)―2017年1月15日(日)

DIC川村記念美術館  
 Kawamura Memorial DIC Museum of Art

千葉県佐倉市坂戸631 Tel. 0120-498-130  
<http://kawamura-museum.dic.co.jp>

Interior, Rome 1980年 個人蔵

# Cy Twombly Photographs *Lyrical Variations*

サイ・トゥオンブリーの写真  
 —変奏のリリシズム—

2016年4月23日(土)―8月28日(日)

開館時間=9:30-17:00(入館は16:30まで) 休館日=月曜日(ただし7/18は開館), 7/19(火)  
 入館料=一般1,200円(1,000円), 学生・65歳以上1,000円(800円), 小中高600円(500円)  
 ※( )内は20名以上の団体料金 ※5/5「こどもの日」小中高無料 ※5/18「国際博物館の日」入館無料  
 主催=DIC株式会社 特別協力=ニコラ・デル・ロッショ財団, ニコラ・デル・ロッショ・アーカイブ, サイ・トゥオンブリー財団  
 後援=千葉県, 千葉県教育委員会, 佐倉市, 佐倉市教育委員会

DIC川村記念美術館  
 Kawamura Memorial DIC Museum of Art  
 千葉県佐倉市坂戸631 Tel. 0120-498-130

# Cy Twombly Photographs: Lyrical Variations

## サイ・トゥオンブリーの写真 — 変奏のリリシズム —

わたしは自分のことを、ロマンティックな象徴主義者だと思っています。

—— サイ・トゥオンブリー

17世紀のパラッツォ、大理石のテーブルに置かれたキャベツや朽ちていく花々、制作途中の絵や画材が散るアトリエ、穏やかなティレニア海の眺め。サイ・トゥオンブリーが被写体とするのは、彼の日常を象るモノや風景です。淡い光のなかに現れる光景は、現実の世界を写しながら、記憶の底に沈む映像のようにおぼろげで、見る者の憧憬を誘います。写真のなかの像は、色と形がまざりあい、実態が曖昧になることで、チューリップがローマ彫刻へ、静物が風景へと軽やかに姿を変え、それを見るわれわれの視覚を、より拡がりのある地平へと解放します。

本展は、20世紀を代表する芸術家サイ・トゥオンブリー(1928-2011)が、1951年から没するまで60年間にわたり撮りためた写真作品のなかから100点を、ニコラ・デル・ロッショ財団、ニコラ・デル・ロッショ・アーカイブの全面協力を得て紹介する国内待望の展覧会です。併せて絵画3点、彫刻4点、ドローイング4点、版画18点を展示し、異なるメディアを往還したトゥオンブリーの作品に通底する眼差しを、写真を介して結びびます。

*I think of myself as a Romantic symbolist.*

—— *Cy Twombly*

A 17th-century palazzo, a cabbage and wilting flowers on a marble table, an artist's studio scattered with paints, papers and a painting in progress, a view of the calm Tyrrhenian Sea. For Cy Twombly, the subjects of his photographs are the things and scenes of his daily life. They depict the actual world bathed in soft, pale light, but with an air like images lying in the hazy depths of the memory, which inspires longing and adoration in the viewer. The image in the photograph is one where colors and shapes intermingle, and as ambiguity veils the actualities, a bunch of tulips becomes a work of classical Roman sculpture, a still life easily transforms into a landscape, and in the process, we the viewers find our vision freed, our eyes opened to new and larger realms.

This exhibition brings together 100 photographs taken by one of the 20th century's acclaimed artists, Cy Twombly (1928–2011), over six decades, starting from 1951. With the full cooperation of the Nicola Del Roscio Foundation and the Nicola Del Roscio Archives, we are proud to bring to Japan this long-awaited exhibition. Also on display will be three paintings, four sculptures, four drawings and 18 prints that further help us understand Twombly works across all the media the artist worked in, and the photographs shed clearer light on the vision that runs through all of his oeuvre.

## 関連イベント

### 講演会

5月28日(土) 13:30–15:00

「サイ・トゥオンブリーの写真」

講師＝清水稔[写真評論家、同志社大学教授]

整理券要予約(空席がある場合は当日券配布) | 13:00館内受付にて整理券配布 | 定員50名 | 入館料のみ

### ゲストによるギャラリートーク

7月23日(土) 13:30–15:00

ゲスト＝田中義久[グラフィックデザイナー、Nerhol]、ホンマタカシ[写真家]

予約不要 | 13:30エントランスホール集合 | 定員60名 | 入館料のみ

### 担当学芸員によるギャラリートーク

4月23日(土)、6月25日(土)、7月30日(土)、8月28日(日)

予約不要 | 14:00エントランスホール集合 | 定員60名 | 入館料のみ

### ガイドスタッフによる定時ツアー

講演会・ギャラリートーク開催日を除く毎日

予約不要 | 14:00エントランスホール集合 | 定員60名 | 入館料のみ

### コンサート

6月18日(土) 17:45開場、18:00開演

「音楽で巡るサイ・トゥオンブリーの世界 — イタリア音楽からピンチャーまで」

演奏＝鈴木理恵子[バイオリン]、若林颯[ピアノ]

要予約 | 全席自由 | 一般4,500円 友の会4,000円

お問い合わせ・ご予約

当館ホームページ <http://kawamura-museum.com>

電話 043-498-2672 Eメール [ticket@kawamura-museum.com](mailto:ticket@kawamura-museum.com)



1



4



7



2



5



3



6

1. **Cabbages (Bright)**, Gaeta 1998年 個人蔵
2. **Tulips**, Rome 1985年 個人蔵
3. **Still Life**, Black Mountain College 1951年 個人蔵
4. **Sperlonga IV**, Sperlonga 2010年 個人蔵
5. **Unfinished Painting**, Gaeta 2006年 個人蔵
6. **Celtic Boat**, Gaeta 1994年 個人蔵
7. **Miramare - By the Sea**, Gaeta 2005年 個人蔵
8. **無題** 1989年 サイ・トゥオンブリー財団蔵[ブロンズ彫刻]
9. **マゾダでの10日間の待機** 1963年 国立国際美術館蔵[カンヴァス作品]

©Nicola Del Roscio Foundation / ©Cy Twombly Foundation



8



9